

情報化・ICT利活用の取組

関係資料

- テレビ会議システムの活用 . . . 1
- サーバ統合基盤への移行 . . . 2
- オープンデータの取組（「ひなたGIS」の公開） . . . 3

テレビ会議システムの活用

■概要

(1) テレビ会議システム

- ・40インチのテレビモニターを通して動画・音声をリアルタイム配信
- ・配信映像の画面構成は用途に合わせて設定可能（全画面、2～4分割、小窓表示等）
- ・資料画面を表示可能（研修や説明会で利用）

(2) パソコン用会議システム

パソコンに小型カメラを接続することにより、テレビ会議に参加可能
（専用ソフトのインストール必要）



■期待される効果

- ・参加者の移動時間、旅費の削減
- ・会議の効率化
- ・緊急時の迅速な情報共有

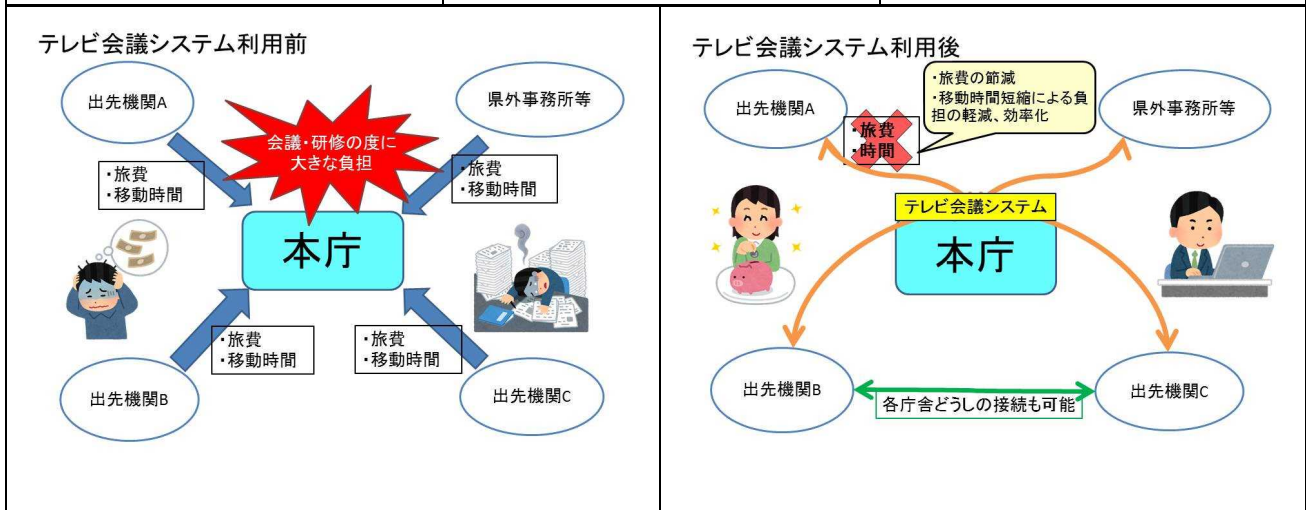
■想定される利用場面

- ・県庁出先機関等や市町村職員を対象にした説明会、研修会、打合せ
- ・遠隔地間の会議や緊急時の情報共有

■配備状況

現在、以下のとおり本庁に2台、総合庁舎等に各1台配備（合計9台）

1号館	7号館	日南総合庁舎
都城総合庁舎	小林総合庁舎	高鍋総合庁舎
日向総合庁舎	延岡総合庁舎	西臼杵支庁



■利用実績

年度	件数	時間	実際の利用例
H27年度	15件	376.23時間	県有建物保全連絡会議、難病指定医研修 市町村情報化研修会 等
H28年度	32件	446.13時間	鳥インフルエンザ対応、家畜防疫演習 県職員養成塾「ゆう活のススメ」講座 等

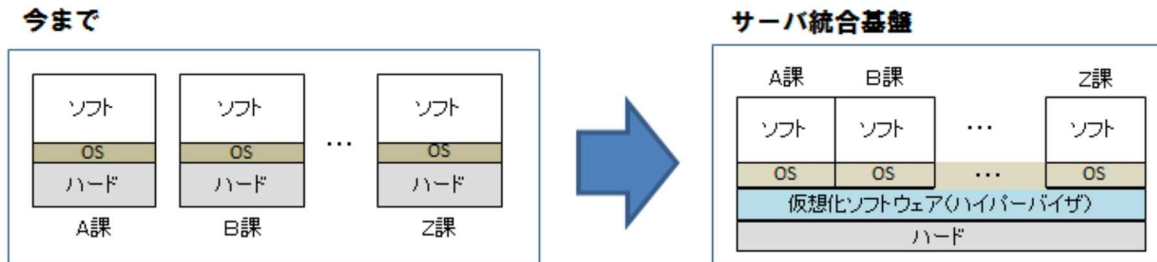
サーバ統合基盤への移行

情報政策課

■概要

各課で所有する業務システム（税、人事給与等）毎に所有していたサーバ機器等を、仮想化技術で集約・統合し、情報政策課が一元的に提供することで、調達コストや運用管理コストを削減するもの。

平成26年度から本運用を開始し、平成29年6月末現在、74システム221台のサーバが基盤上で稼働している。



■実績と予定

年度	26	27	28	29	30	計
システム数	23	26	25	11	3	88
サーバ数	51	92	78	38	12	271

■主な効果

(1) コスト削減

平成35年度までの10年間で約7億円のコスト削減を見込んでいる。

(2) 省電力化（＝CO₂削減）

271台の機器を16台に集約することによる省電力化（削減率約80%）

(3) 情報セキュリティ強化

- ・不正侵入防御やウイルス対策を標準装備
- ・仮想化技術によるサーバの冗長化
- ・24時間365日の監視体制
- ・県庁公式ホームページのDR（disaster recovery：災害復旧）サイトの構築

(4) 職員負担軽減

機器の監視やトラブル対応に関する負担の軽減

■今後の取組み

情報システムは県民サービスを支える基盤であるため安定運用に努めるとともに、ハードウェアの最適化で得た個々のシステムの情報を業務全体の最適化に活かしていく。

オープンデータの取組（「ひなたGIS」の公開）

情報政策課

■オープンデータの公開

平成27年度に県及び市町村が共同利用可能なデータ公開ホームページを構築し、県が保有する452件の公開を開始。

平成28年度には宮崎市・日南市・串間市・木城町・日之影町がデータを公開。



（オープンデータの例：串間市公開）

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	介護保険サービス区分	介護保険事業所番号	高齢者施設名称	定員	郵便番号	住所	緯度	経度	電話	FAX
2	地域包括支援センター	4500700010	串間市地域包括支援センター		〒889-0001	大字西方9365-8	31.4649277	131.2177899	72-0023	72-1915
3	居宅介護支援事業所	4570700015	幸寿園 居宅介護支援事業所		〒889-0004	大字串間1034	31.496256	131.250638	72-3010	72-5290
4	居宅介護支援事業所	4570700023	串間市寿楽園在宅介護支援センター		〒889-0001	大字西方4341-1	31.4698827	131.2293226	72-2310	72-3005
5	居宅介護支援事業所	4570700031	とめのファミリークリニック 居宅介護支援事業所		〒889-0222	大字都井2179	31.3968881	131.3055417	76-1425	71-4006
6	居宅介護支援事業所	4570700064	串間市長寿の里在宅介護支援センター		〒889-3531	大字茶留5298-3	31.5132145	131.2466173	74-2737	74-2217

※平成29年6月末時点での公開件数609件（うち市町村60件）

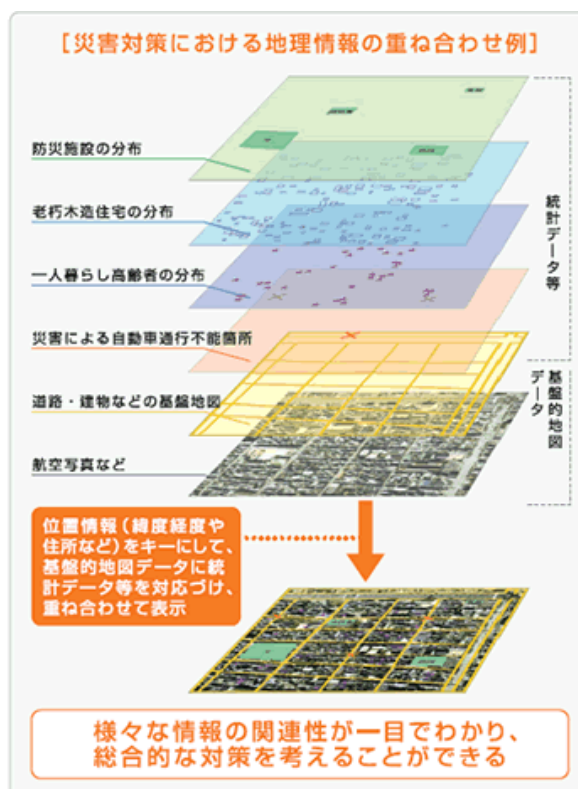
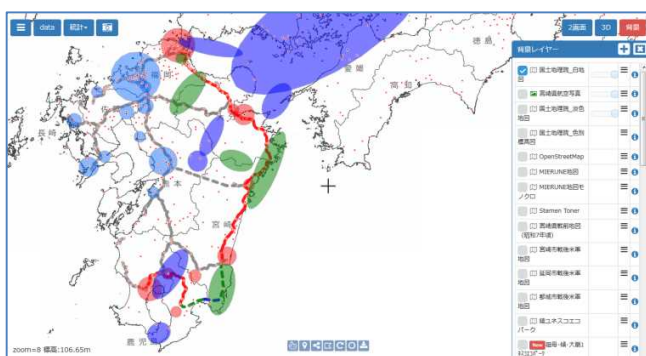
※オープンデータとは、国、自治体、独立行政法人等が保有するデータを、機械判読に適したデータ形式で、二次利用が可能な利用ルールにより公開すること、またそのように公開されたデータ

■ひなたGISの公開

利用者がオープンデータや各種統計データ等の様々なデータを自由に地図上に重ね合わせることで地域の特色や課題等を見える化する地理情報システム（Geographic Information System）。

このシステムは、県情報政策課の職員がオープンデータの可能性を広げるため、「データを身近なものに」をコンセプトに独学で構築したもので、本年3月の内閣府主催「RESAS アプリコンテスト」で最優秀賞を受賞し、5月より一般公開を開始した。

（ひなたGIS画面）



出典：国土交通省ホームページ

■今後の取組み

ひなたGISを先進事例として、県内のデータ利活用の機運醸成に努めていく。